



ごあいさつ

理事長 出村 良平

平素より、私ども北海道労働金庫に対して、格別のお引き立てを賜り、誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

当金庫は1951年の創立以来70年以上にわたり、営利を目的とせず、「はたらく人たちの」金融機関として、生活者本位であることを基本に会員・勤労者の皆さまとともに歩んできました。2022年度からは、長期ビジョン(～2024年度)の集大成を図る、中期経営計画(2022～2024年度)をスタートさせ、会員・地域・利用者とのつながりによる「しあわせの循環」の創造をめざし、ろうきんの理念に通ずる「共生社会の実現」と「健全経営の維持」をコアバリューに据えた取り組みを展開しております。

2022年度は、「共生社会の実現」に向けて、“NPOとの連携”や“つなぐプロジェクト寄付事業”、“協同組合組織との連携”“金融リテラシーの醸成”など、皆さまの協力のもと全道各地において様々な分野で活動を進展させることができました。これからも、会員・推進機構や同じ志をもって各地域で活動する非営利団体と手を携え、金融面でのハブ機能の発揮を通じて、持続可能な共生社会の実現に寄与する取り組みを展開してまいります。

また、「健全経営の維持」においては、2023年3月期で預金残高1兆936億円、貸出金残高8,119億円となり、いずれも計画を上回る実績となったほか、当期純利益や自己資本比率など主要な指標についても安定した経営に必要な水準に達しており、今後も更なる経営基盤の強化をめざしてまいります。

日本経済は、様々な外的要因などにより、足下ではより不透明感が増しています。そのような中において、当金庫は協同組織の福祉金融機関として、これまで会員・推進機構の皆さまと共に築き上げてきた事業モデルを礎に、SDGsのテーマでもある「金融包摂」に通ずる長期ビジョンの達成を目指し、会員、ご利用者の皆さまのために、役職員が一丸となり全力で事業活動に取り組んでまいりますので、引き続きご理解とご協力のほどお願い申し上げます。

結びとなりますが、当金庫の経営方針や事業の状況をご案内するため、ここに「北海道労働金庫ディスクロージャー誌2023」を作成いたしました。多くの皆様にご覧いただき、当金庫に対するご理解をより一層深めていただければ幸いです。

2023年7月

C O N T E N T S

ごあいさつ	1
-------	---

ろうきんの理念

ろうきんの理念と基本姿勢	2
--------------	---

北海道ろうきんの概要

2022年度トピックス	4
2022年度業績ハイライト	6
中期経営計画(2022～2024年度)の概要	8
つなぐプロジェクト for SDGs	10
2023年度事業計画	11
2023年度事業計画における リスクアペタイト	12
社会的責任と貢献活動	13
北海道ろうきんの健全性・安全性	22
リスク管理体制	23
コンプライアンス態勢	26
お客様本位の業務運営に関する 取組方針・取組状況	29
業務の適正を確保するための体制・運用 状況(内部統制システム)	31

営業のご案内

預金商品・資産運用商品のご案内	33
融資商品等のご案内	35
各種サービス・業務のご案内	37
主な手数料一覧	39

プロフィール

北海道ろうきんの組織	41
あゆみ	42

ネットワーク

北海道ろうきん店舗・自動機一覧	43
-----------------	----

財務データ

財務諸表	45
資産内容の開示	51
経営指標	53
預金に関する指標	54
貸出金等に関する指標	55
有価証券に関する指標	56
その他業務	57
出資金・ 常勤役員一人当たり・店舗当たり預金・貸出金	58
連結情報	59
自己資本の充実の状況	65

索引

開示項目一覧	75
--------	----